



JFE システムズ 株式会社

DISCLOSURE REPORT

株主のみなさまへ

2014年度上期ご報告

(2014年4月1日—2014年9月30日)



(当社本社ビルより東京スカイツリーをのぞむ)

上期は順調な立ち上がり。重点戦略を着実に推進し、通期収益目標の達成と4期連続の増収増益を目指します。

2014年度上期の決算をふまえ、JFEシステムズの取り組みについて西崎代表取締役社長がお答えします。



Q 2014年度上期の評価と通期見通しは？

A 製造流通向けおよび鉄鋼向け事業が好調。通期でも計画通りの収益達成を目指します。

上期は、前年同期の連結子会社KITシステムズにおけるWindows対応特需が今期はなくなったものの製造流通向けの複合ソリューション事業の拡大やJFEスチールのIT投資回復を背景とした鉄鋼向け事業の収益力向上により、前期を大幅に上回る業績を達成することができました。

通期においても、重点戦略である「JFEスチールIT施策の推進」と「外販ビジネスのさらなる強化・拡大」に取り組み、計画通りの収益達成(売上高360億円、経常利益15.2億円)と4期連続の増収増益を目指します。

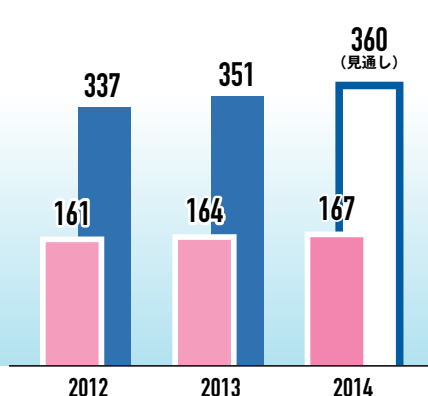
Financial Highlights

連結財務ハイライト

連結売上高

(単位: 億円)

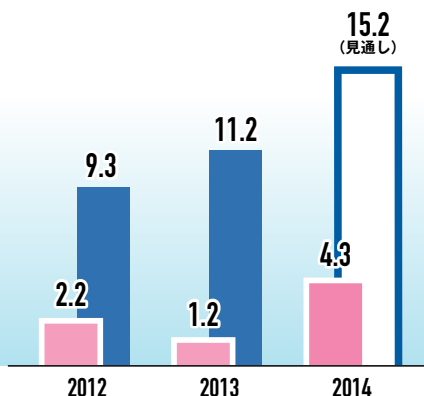
上期 ■ 通期 ■



連結経常利益

(単位: 億円)

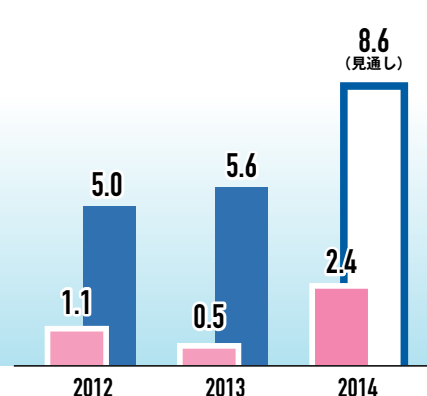
上期 ■ 通期 ■



連結当期純利益

(単位: 億円)

上期 ■ 通期 ■



Q 「JFEスチールIT施策の推進」への取り組みは？

A 製鉄所システムの共通化とJFEグループの海外展開支援に取り組めます。

最優先課題は、各製鉄所で異なるシステムの共通化と連携強化であり、最新の開発手法やシステム基盤を用いて対応していきます。

また、海外展開の支援にも注力しており、昨年タイのCGL工場向けに開発した海外標準システムを現在インドネシアに適用中です。今後さらに外販の製造業向けにも展開していきます。

Q 「外販ビジネス強化・拡大」への取り組みは？

A 製造流通向けビジネスの拡大と自社プロダクトのさらなる拡販に取り組めます。

外販分野では、製造流通向けビジネスの拡大が大きなテーマです。自社商品とERP(基幹業務パッケージ)を組合せた複合ソリューションを提案し新規顧客の開拓を目指します。さらにそのビジネスを発展させることで重点顧客化の推進につなげていきたいと考えています(※)。

また、自社で開発した電子帳簿ソリューションや食品品質管理システムの更なる拡販にも注力してまいります。

(※) 製造流通向けビジネスの強化・拡大

重点顧客における領域拡大

- ✓ 製造業の経験を生かしたビジネス展開
➔ 自動車向けビジネスが順調に拡大

新規重点顧客の獲得

複合ソリューション提案による新規開拓

- ✓ 製造業向け標準システム(ERP+操業管理Sys)
- +
- ✓ 製造業向けテンプレートなど

新ソリューションの開発、サービス化を推進

重点顧客化の推進

Q 株主の皆様へ一言。

A 「提案力に磨きをかける」を合言葉に、社員一丸となって業績向上に努めます。

IT業界は技術革新が速く、市場の移り変わりも激しい業界です。この中で競争力を持つには、「JFEスチールの情報子会社」という原点に立ち返り、最大の特徴である「製造業のDNA」を活かしたビジネス展開を行うべきだと考えています。JFEスチールの競争力強化につながるシステムを構築することが、外販ビジネスで強みを発揮できる源泉になると確信しています。

これらの実行にはお客様のニーズにお応えする「提案

力」が重要と考えています。社長就任以来「提案力に一層磨きをかけよう」と盛んに社員に呼びかけています。製造業のDNAを活かした提案力を武器に、継続的な業績向上に向けて社員一丸となって努力していく所存です。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 西崎 宏

Financial Statements

2014年度上期連結財務諸表の概要

連結貸借対照表

単位:百万円

	2013年度末 (3月31日)	2014年度 上期末 (9月30日)	差
資産の部			
流動資産	11,818	11,922	1 103
固定資産			
有形固定資産	2,311	2,244	
無形固定資産	2,572	2,447	
投資その他の資産	2,081	2,161	
固定資産合計	6,965	6,852	2 △113
資産合計	18,784	18,774	3 △9
負債の部			
流動負債	5,698	5,555	
固定負債	3,136	3,194	
負債合計	8,834	8,749	
純資産の部			
株主資本			
資本金	1,391	1,391	
資本剰余金	1,959	1,959	
利益剰余金	6,301	6,363	
株主資本合計	9,652	9,714	
その他の包括利益累計額	△20	△6	
少数株主持分	318	318	
純資産合計	9,950	10,025	4 76
負債純資産合計	18,784	18,774	

連結損益計算書

単位:百万円

	2013年度 上期	2014年度 上期	差
売上高	16,434	16,702	5 268
売上原価	13,833	13,763	
売上総利益	2,601	2,939	
販売費及び一般管理費	2,488	2,494	
営業利益	114	445	
営業外収益	11	16	
営業外費用	7	30	
経常利益	118	431	6 313
税金等調整前四半期純利益	118	431	
法人税等	67	186	
少数株主損益調整前四半期純利益	51	245	
少数株主損益	5	8	
四半期純利益	46	237	7 191

連結キャッシュ・フロー 計算書

単位:百万円

	2013年度 上期	2014年度 上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,241	1,741
投資活動によるキャッシュ・フロー	△850	△739
財務活動によるキャッシュ・フロー	△365	△375
現金及び現金同等物の増減額	28	625
現金及び現金同等物の期首残高	2,301	1,954
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,328	2,579

POINT 1 | 連結貸借対照表 (前年度末比)

- 1 流動資産 ⇒ 103百万円増加
預け金・仕掛品の増加等
- 2 固定資産 ⇒ 113百万円減少
無形固定資産の減少等
- 3 資産合計 ⇒ 9百万円減少
- 4 純資産合計 ⇒ 76百万円増加
四半期純利益計上による利益剰余金の増加等
自己資本比率 51.3% ⇒ 51.7%
純資産の増加による

POINT 2 | 連結損益計算書 (前年同期比)

- 5 売上高 ⇒ 268百万円増加
製造流通向け複合ソリューション事業の
拡大による増加等
- 6 経常利益 ⇒ 313百万円増加
鉄鋼向け事業の収益力改善による増加等
- 7 四半期純利益 ⇒ 191百万円増加
経常利益の増加による

株主アンケート



本アンケートに関する回答を、同封の「返信用はがき」または「当社専用サイト（※）」のアンケート回答欄にご記入いただき、お手数ですが2014年12月19日（金）までにご投函ください（当社専用サイトご利用時同日までにご回答ください）。アンケートにご回答くださった方には、2015年の卓上カレンダーをご送付いたします。

なお、「返信用はがき」および「当社専用サイト」よりご提供いただきました個人情報につきましては、卓上カレンダーの発送のみに使用いたします

- Q1.** 年代 1 1～30歳 2 2～40歳 3 3～50歳 4 4～60歳 5 5～70歳 6 71歳以上
-
- Q2.** 当社株式の保有期間 1 半年未満 2 半年～1年未満 3 1年～2年未満
4 2年～3年未満 5 3年～5年未満 6 5年～10年未満 7 10年以上
-
- Q3.** 当社のどのような情報をお知りになりたいですか。（複数回答可）
1 業績に関する説明 2 新製品・新技術 3 事業計画 4 強み・特長
5 経営方針 6 研究・開発内容 7 事業内容 8 業界情報
9 財務情報 10 その他（具体的に）
-
- Q4.** 当社をお知りになったきっかけは何ですか。（複数回答可）
1 新聞（新聞名） 2 株式専門誌（専門誌名） 3 証券会社のセールス
4 インターネット検索 5 知人の紹介 6 取引関係
7 一般雑誌（雑誌名） 8 会社説明会 9 その他（具体的に）
-
- Q5.** 当社株式の保有の理由についてお聞かせください。（重視しているもの1つ）
1 事業内容がいいから 2 業績がいいから 3 将来性に期待
4 値上がり期待 5 配当利回りに期待 6 IT関連株だから
7 JFEグループだから 8 その他（具体的に）
-
- Q6.** 今後当社株式を買い増すとしたらどの様な点を考慮しますか。（重視しているもの1つ）
1 値上がり期待 2 配当利回り 3 株主優待 4 その他（具体的に）
-
- Q7.** “株主のみなさまへ”（お送りした小冊子）についてお聞かせください。
わかりやすさ 1 わかりやすい 2 わかりにくい
情報量 1 情報が多い 2 適切な量である 3 情報が少ない
-
- Q8.** 当社ホームページ（<http://www.jfe-systems.com/>）についてお伺いします。
ホームページの閲覧について 1 見ている 2 見ていない
「1 ホームページを見ている」に○をつけた方にお聞きします。
わかりやすさ 1 わかりやすい 2 わかりにくい
IRページの充実度 1 情報が多い 2 適切な量である 3 情報が少ない
当社ホームページのどのメニューに興味を持ちましたか
1 当社の強み 2 製品・サービス 3 導入事例 4 セミナー・イベント
5 会社情報 6 投資家の皆様へ 7 CSR情報 8 採用情報
9 その他（具体的に）
-
- Q9.** “株主のみなさまへ”や当社ホームページおよびその他、当社に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

※ 株主アンケートにつきましては、当社ホームページ上の専用サイトからも回答が可能です。
 専用サイトのURLを直接入力するか（http://www.jfe-systems.com/ir/stock_enq.html）、
 当社ホームページより「投資家の皆様へ」→「IR資料室」→「株主のみなさまへ」の順に進み、「株主アンケート」をクリックしてください。

会社の概要／経営体制／株式の状況 (2014年9月30日現在)

会社の概要

名称(商号)	JFEシステムズ株式会社 JFE Systems, Inc.	主な事業内容	情報システムのインテグレーション および運用・保守など
本社所在地	〒130-0012 東京都墨田区太平四丁目1番3号 オリナスタワー17階 電話 03-5637-2100(代表)	従業員数	1,810名(連結)
設立	1983年9月1日	子会社の状況	KITシステムズ株式会社 67.5% JSU, Inc. 100.0%
資本金	1,390,957千円	上場証券取引所	東京証券取引所第二部(証券コード:4832)

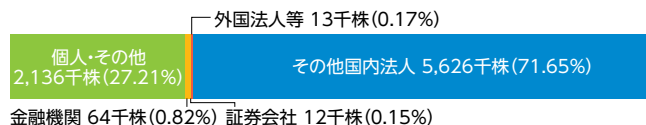
経営体制

取締役	代表取締役社長(CEO)	西崎 宏
	取締役(常務執行役員)	渡部 尚史
	取締役(常務執行役員)	宮原 一昭
	取締役(常務執行役員)	福村 聡
	取締役(常務執行役員)	上條 巧
	取締役(社外)	北山 直人
	取締役(社外)	都築 正行
監査役	常勤監査役(社外)	深川 均
	常勤監査役	金藤 秀司
	監査役(社外)	岡井 哲
	監査役(社外)	新田 哲
執行役員	常務執行役員	佐々木 富雄
	執行役員	柏原 大造
	執行役員	國安 誠
	執行役員	中村 元
	執行役員	下田 純
	執行役員	原田 敬太
	執行役員	奥野 敦己

株式の状況

発行可能株式総数	31,412,000株
発行済株式総数	7,853,000株
株主数	1,732名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数	持株比率
JFEスチール株式会社	5,116千株	65.15%
JFEシステムズ社員持株会	714千株	9.10%
富士通株式会社	250千株	3.18%
アトラス情報サービス株式会社	50千株	0.64%
JFEアドバンテック株式会社	50千株	0.64%
JFE電機株式会社	50千株	0.64%
JFEメカニカル株式会社	50千株	0.64%
JFE物流株式会社	50千株	0.64%
三井住友信託銀行株式会社	50千株	0.64%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	株主総会・期末配当は毎年3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店 で行っております。
公告方法	電子公告 http://www.jfe-systems.com/ir/stock/houtei.html ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所第二部

お知らせ

- 住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申付けください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申付けください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申付けください。
- 「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
*確定申告をされる株主様は、大切に保管してください。

ご注意 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。



JFE システムズ 株式会社

JFE